

宇宙開発利用専門調査会 測位分野検討会の進め方

平成 15 年 10 月 28日
総合科学技術会議事務局

1.測位分野検討会の論点と今後の進め方

第 12回宇宙開発利用専門調査会での専門委員の意見陳述の論点と、それに対応する今後の進め方を表 1に示す。

表 1 測位分野検討会の論点と今後の進め方 (1/ 3)

専門委員の意見陳述での論点	今後の進め方	備考
国による研究・開発と民による事業化の責任区分の明確化 / 国が責任を持って技術開発を行い、その上で民に移転すべき	・ の議論を受けて、測位・通信放送における技術開発リスク、それらの事業化への影響を整理し、事業化に際しての課題として、準天頂衛星システム開発・利用推進協議会(以下、協議会)にて検討した結果を検討会で審議	
国の研究開発費 500 億円分の技術所有権の保持、移転	・ 事業化に際しての課題として、協議会にて検討した結果を検討会で審議	
米国 GPS システムに依存し続けることのわが国の総合安全保障上の懸念の検討	・ 「衛星測位」の位置づけを検討会で明確化 (総合安全保障からの観点)	
準天頂と M T S A T 等との連携による我が国独自の測位システムの構築可能性の検討	・ 検討会にて、MTSAT/MSAS のヒアリングを実施 ・ 我が国独自の測位システム構築に関しては、上記ヒアリング結果並びにその他のオプションも含めて、「衛星測位」の位置付けを検討会で明確化する。 (衛星測位の自立性の観点)	

表 1 測位分野検討会の論点と今後の進め方 (2/ 3)

専門委員の意見陳述での論点	今後の進め方	備考
<p>衛星測位システム構築上の課題</p> <p>a .衛星測位システムの脆弱性 / クリティカルシステムに適用した場合のバックアップ確保</p> <p>b .衛星測位システムがカバーできない屋内とのコンパティビリティの確保</p> <p>c .衛星測位システムが悪用される危険性の評価</p>	<p>・技術的課題として、協議会にて検討した結果を検討会で審議</p>	
<p>測位補完機能の公共性についての検討</p>	<p>・調査票の最終結果を含め、「衛星測位」の位置付けとして、公共性について検討会にて更に議論（測位補完サービス/補強サービスの切り分けを含めて）</p>	
<p>測位アプリケーションに対するさまざまなニーズの的確な予測 / 測位と通信・放送との融合</p>	<p>・ASBC の検討結果(測位と通信・放送機能を合わせた機能性・採算性の評価を含む)を検討会で議論</p>	
<p>測位と通信・放送とを分離してシステム構築した場合との比較検討</p>	<p>・ASBC の検討結果を検討会で議論</p>	
<p>測位補強サービスに関する地上系システム整備との定量的なコスト比較</p>	<p>・ASBC の検討結果を検討会で議論</p>	

表 1 測位分野検討会の論点と今後の進め方 (3/ 3)

専門委員の意見陳述での論点	今後の進め方	備考
準天頂衛星システムの地上系放送・通信に対する政府の危機管理用バックアップとしての位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報通信」、「安全の確保」のフォロー項目として、検討会とは切り離して議論（第 13、15 回予定） ・その後、必要に応じて ASBC にて検討実施 ・ASBC の検討結果を検討会で議論 	
測位インフラの整備・運用機関のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会での論点 ~ の検討結果の総括として、測位インフラの整備・運用機関のあり方について議論 	年内を目途に中間とりまとめ予定
非研究開発衛星の調達手続きとの関係の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・準天頂衛星システム関連は、協議会にて検討した結果を検討会に報告。 ・衛星全般については、「産業化」のフォロー項目として、検討会とは切り離して議論（第 17 回予定） 	
アジアをターゲットとした国際戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際戦略」のフォロー項目として、検討会とは切り離して議論（第 17 回予定） 	

2. 今後の測位分野検討会の予定

第1回 平成15年10月下旬

- ・ MTSAT/MSAS に関するヒアリング（国土交通省）【論点 〃】
- ・ 「衛星測位」の位置付け
 - 我が国としての自立性確保【論点 〃、 〃】
 - 総合安全保障上の位置づけ【論点 〃】

第2回 平成15年11月中旬

- ・ 測位補完機能の公共性としての検討【論点 〃】
- ・ 測位アプリケーションの整理【論点 〃、 〃】

第3回 平成15年11月下旬

- ・ 測位インフラの整備・運用機関のあり方について【論点 〃】
（中間とりまとめ）

以降、残りの論点について年度内を目途に順次検討を実施していく。

以 上